

第 15 回高知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

1 日 時 令和 2 年 1 2 月 9 日 (水) 1 7 : 1 0 ~

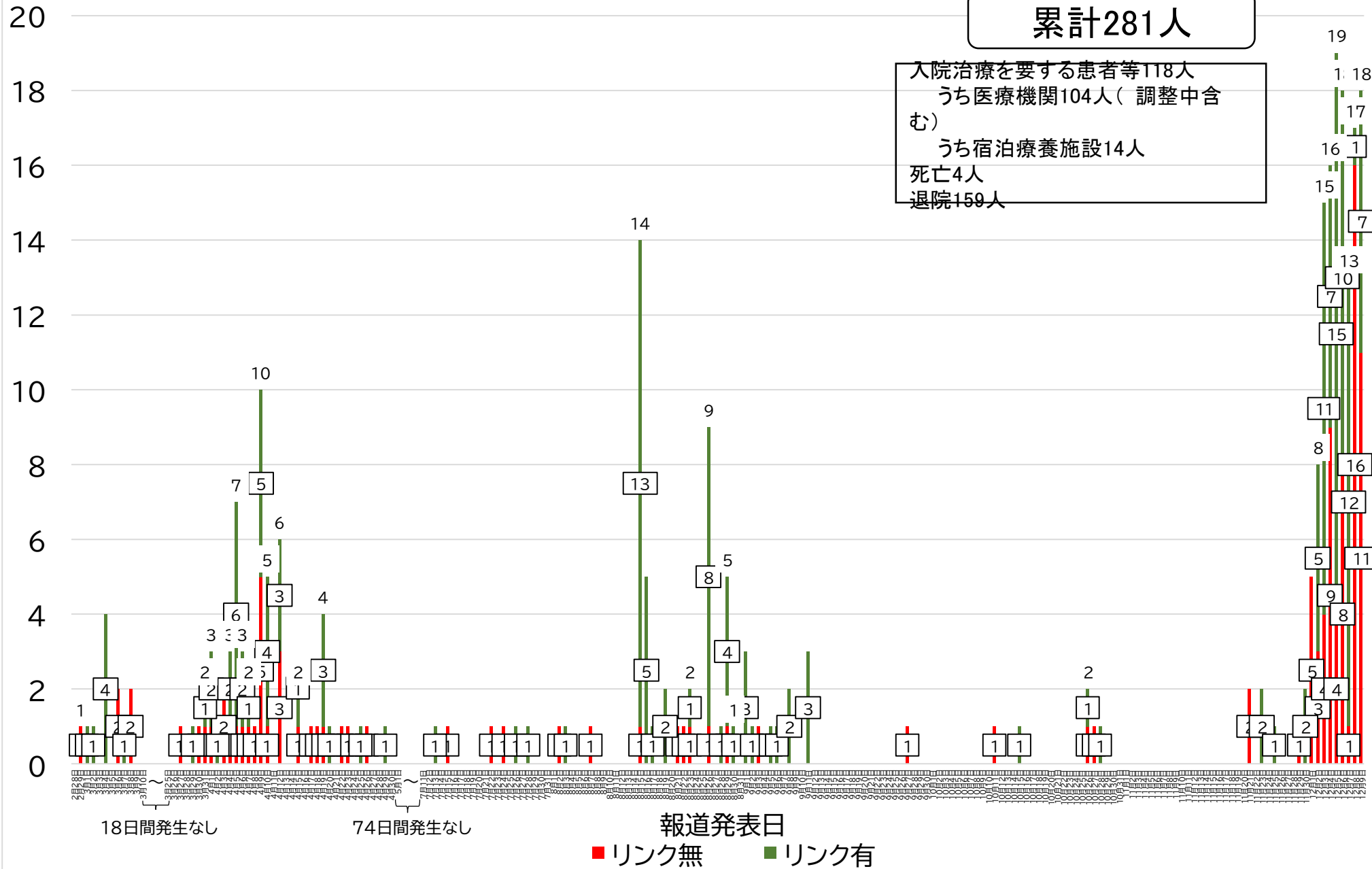
2 場 所 県庁本庁舎 2 階 第 2 応接室

3 議 題

- (1) 県内の感染状況について (健康政策部)
- (2) 「感染症対応の目安」のステージ変更等について (健康政策部)
- (3) 「感染症対応の目安」のステージ変更に伴う対応方針について
(危機管理部、文化生活スポーツ部、観光振興部、
林業振興・環境部、教育委員会事務局)
- (4) 各部の報告事項について (関係部のみ)
- (5) 知事からの指示事項 (知事)
- (6) 県民の皆さまへのメッセージ (知事)

新型コロナウイルス感染者数の推移（日毎）（12月9日時点）

（人）



新型コロナウイルス感染症の 最近の患者発生状況

11/19～11/25 ⇒ 5名



3.2倍

11/26～12/2 ⇒ 16名



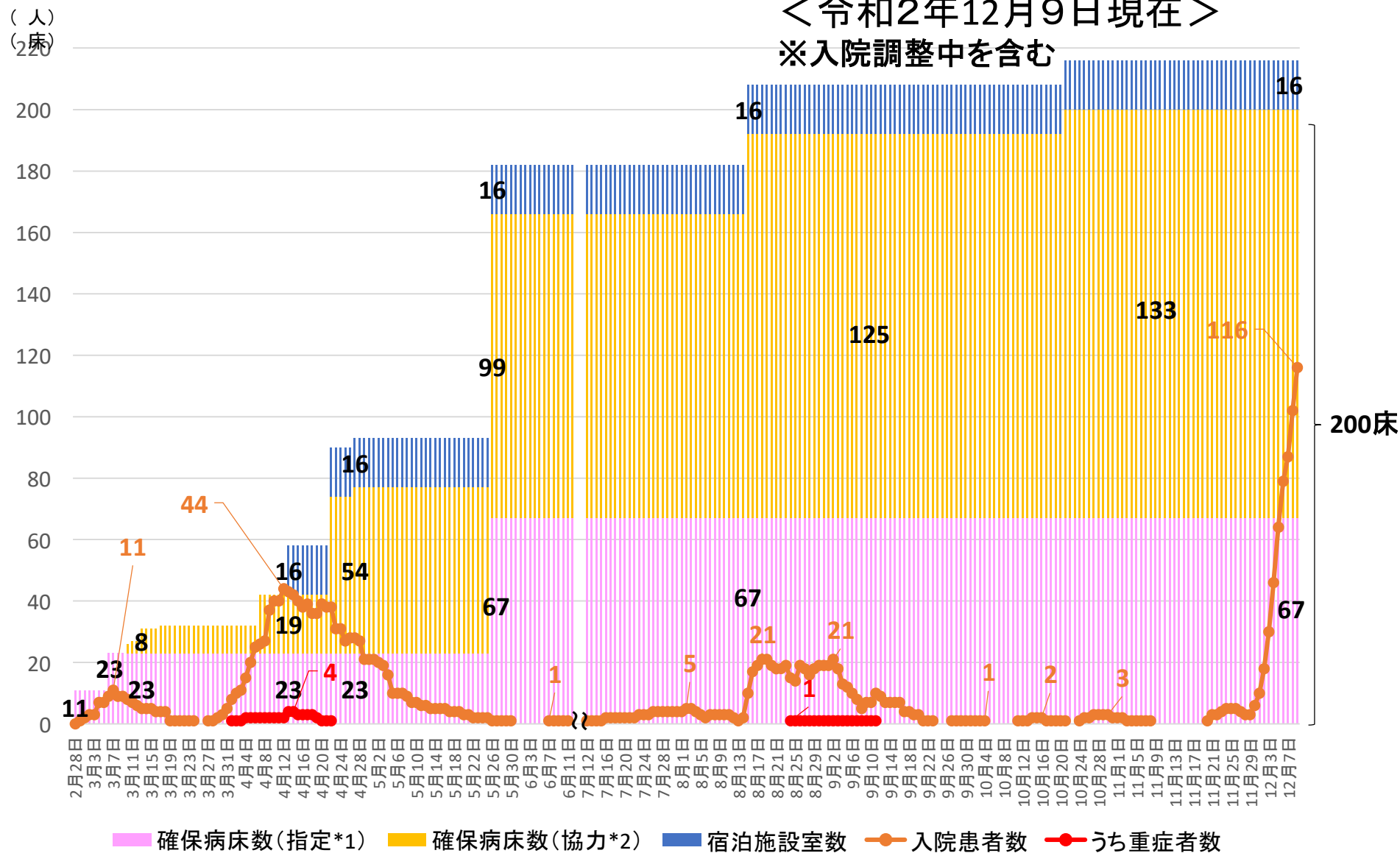
7.3倍

12/3～12/9 ⇒ 116名

入院患者数と確保病床数の推移（ 宿泊療養含む）

＜令和2年12月9日現在＞

※入院調整中を含む



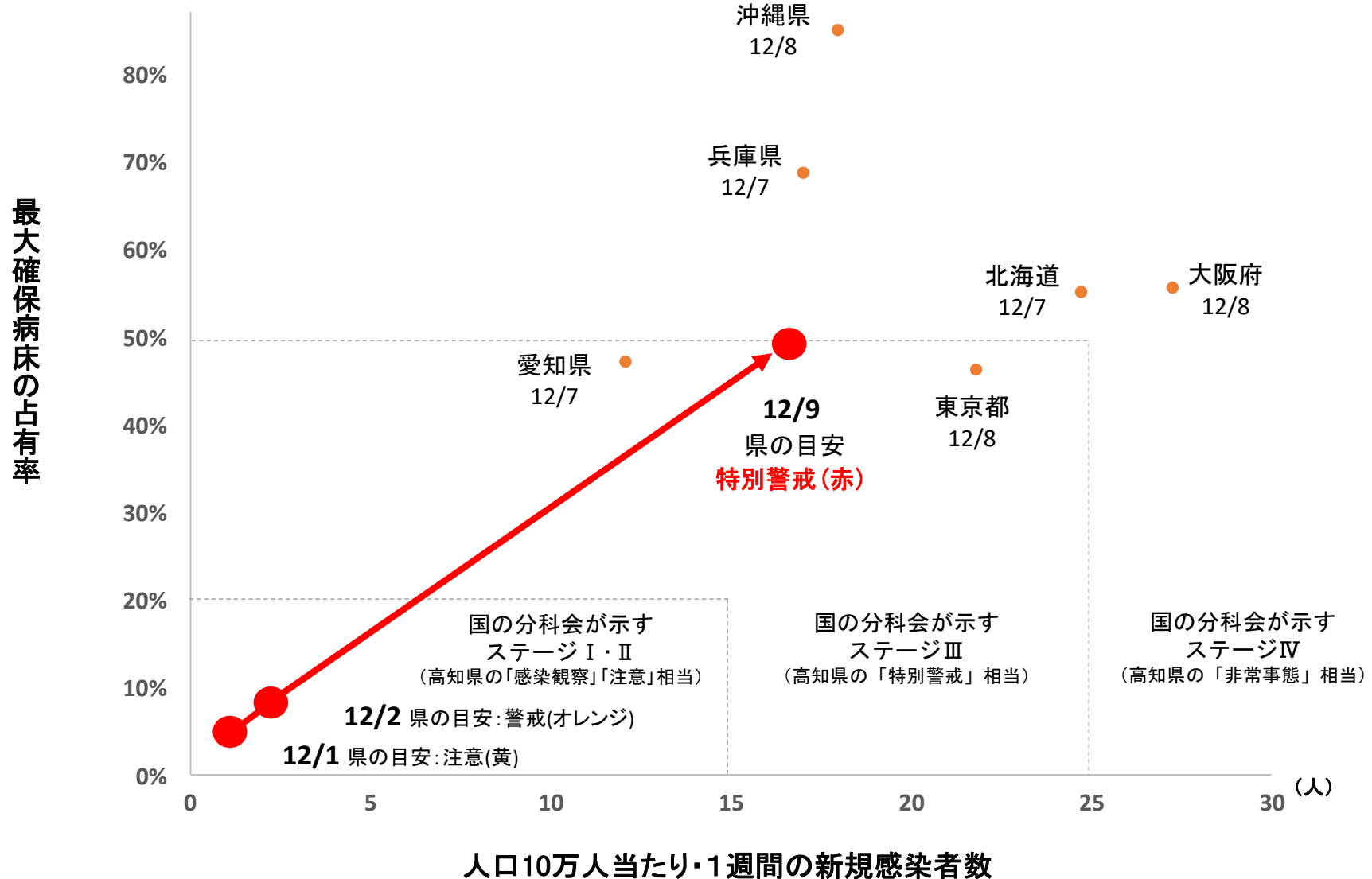
(*1:感染症指定医療機関, *2:入院協力医療機関)

高知県の新型コロナウイルス感染症の対応目安

判断指標		県の状況（12月9日現在）	
		対判断指標	総合判断
①全療養者数	特別警戒（赤）：105人以上 非常事態（紫）：175人以上	116人	特別警戒
②最大確保病床の占有率（200床）	感染観察（緑）：10%未満 注意（黄）：10%未満 警戒（オレンジ）：10%以上 特別警戒（赤）：20%以上 非常事態（紫）：50%以上	50% (100/200)	
③直近7日間の新規感染者数	感染観察（緑）：0～3人 注意（黄）：4人以上 警戒（オレンジ）：14人以上 特別警戒（赤）：105人以上 非常事態（紫）：175人以上	12/3～12/9 全数:116人 (うち感染経路不明数:53人)	
④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較	特別警戒（赤） ：直近1週間が先週1週間より多い 非常事態（紫） ：直近1週間が先週1週間より多い	11/26～12/2：16人 12/3～12/9：116人	
⑤感染経路不明割合（直近7日間）	特別警戒（赤）：50% 非常事態（紫）：50%	12/3～12/9:45.7% (53/116)	
⑥PCR陽性率（直近7日間）	特別警戒（赤）：10% 非常事態（紫）：10%	11/30～12/6 14.8% (88/593) (衛生環境研究所以外の検査を含む)	

新規感染者数・最大確保病床の占有率の推移

- ・高知県以外の数値については、公表データを基にしているため、実際の状況と異なる場合があります。
- ・高知県の「感染症対応の目安」のステージについては、
 - ①全療養者数、②最大確保病床の占有率、③直近7日間の新規感染者数、
 - ④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑤感染経路不明割合、⑥PCR陽性率の6つの指標をもとにして、総合的に判断します。



高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年12月9日時点)

判断指標 ※1	ステージ	感染観察 (緑)	注意 (黄)	警戒 (オレンジ)	特別警戒 (赤)	非常事態 (紫)
	直近7日間の新規感染者数	0～3人	4人以上	14人以上	105人以上	175人以上
	最大確保病床の占有率	10%未満		10%以上	20%以上	50%以上
対応方針	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> □ 「新しい生活様式」等の実践 (例) ・身体的距離 (1～2m) の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒 ・咳エチケット ・こまめに換気 ・公共交通機関では会話は控えめに ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨 □ 各店舗における適切な感染対策の徹底 				
	国の分科会のステージ区分	Ⅰ 散発的発生		Ⅱ 漸増	Ⅲ 急増	Ⅳ 爆発的拡大
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施
	休業等の要請	—		—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施	
	会食	(共通事項に留意)	可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える	
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3				
	県立施設	開館		屋内施設の休館を検討		休館
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断				

※1 判断指標については、①全療養者数 (特別警戒：105人以上)、②最大確保病床の占有率、③直近7日間の新規感染者数、④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑤感染経路不明割合 (特別警戒：50%)、⑥PCR陽性率 (特別警戒：10%以上) の6つの指標をもとにして、ステージを総合的に判断する。また、患者の発生が一部の地域に限定される場合は、当該地域のみを「注意」「警戒」とするなど、地域の実情に応じて柔軟に判断することがある。

※2 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。

※3 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、福祉保健所管内の感染状況等を踏まえた県教育委員会独自の基準に基づき、休業等を判断するものとする。

県内発生事例(145例目～263例目)の大まかな傾向と必要な対策

- ◆11月21日から12月8日までに高知県内で判明した新型コロナウイルス感染症の患者(119名)について大まかな傾向を分析
- ◆各事例のキーワードから大まかな傾向を把握し、各々に対する対策を検証

大まかな傾向(キーワード)		必要対策
職場	10件程度	<ul style="list-style-type: none">手洗い・咳エチケットの徹底3密(密閉・密集・密接)の回避会食は小規模グループかつ短時間で
家庭	25件程度	
他県との往来	5件程度	
感染経路不明	50件程度	
飲食・長時間の会話	35件程度	
カラオケ・バー等	20件程度	

(注) 大まかな傾向(キーワード)については、必ずしもその場において感染が成立したことを確定するものではない。重複計上のため、合計は患者数と合致しない。

高知県におけるこれまでの流行と年齢の分布

(令和2年12月9日時点)

		全国第1波	全国第2波	全国第3波
期間		2/29～4/29	7/13～10/28	11/21～(12/9)
人数 (事例番号)		74人 (1例目～74例目)	70人 (75例目～144例目)	137人 (145例目～281例目)
年代別	10歳未満	4	8	1
	10歳代	2	0	2
	20歳代	7	7	14
	30歳代	8	15	27
	40歳代	12	19	25
	50歳代	14	7	26
	60歳代	13	7	24
	70歳代	8(2)【1】	4(1)【1】	14
	80歳代	4(2)【2】	3	2
	90歳以上	2	0	2

※ ()は重症者数 【 】は死亡者数

県民・事業者の皆さまへ（令和2年12月9日～）

直近7日間（12/3～12/9）の
新規感染者数：116名



「新型コロナウイルス感染症対応の目安」の
ステージを「**特別警戒（赤）**」に引き上げ

感染拡大を防止するため、12月16日（水）までの間、
県民・事業者の皆さまに以下の取り組みをお願いします。

県民の皆さまへ

<外出について>

- ・飲食店を利用する際は、「新型コロナウイルス対策の実施中」を示すポスターの掲示を目安に、ガイドラインを遵守しているお店を選んでください。
- ・「ガイドラインが遵守されていない」酒類を提供する飲食店の利用は、控えるようお願いします。
- ・特に、**高齢者や基礎疾患のある方など、重症化のリスクの高い方は、「酒類を提供する飲食店」への外出を控えるようお願いします。**

<会食について>

- ・人数は「**4人以下のグループ**」で、時間は「**2時間以内**」にしてくださいようお願いします。

<基本的な感染防止策の徹底について>

- ・マスクの着用
- ・手洗いや手指消毒
- ・こまめに換気
- ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて
- ・感染リスクが高まる「**5つの場面**」に特に注意（別紙参照）

事業者の皆さまへ

- ・ガイドライン等に基づく感染防止対策がきちんと行われているか、改めて確認してください。
- ・特に、酒類を提供する飲食店の皆さまは、ガイドラインの遵守をお願いします。
- ・感染防止対策が不十分な場合には、対策の徹底をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



基本事項

■ 食事券の販売開始、その後の販売継続等について、分科会が示した感染状況のステージなども踏まえ、都道府県が判断

Go To Eatキャンペーンの実施にあたっては、
「ステージⅠまたはⅡに相当すると判断される地域で実施することを基本」
「ステージⅢまたはⅣに相当すると判断される地域では、開始後に感染が拡大した場合を含め、慎重に対応」

(R2. 9. 4新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言)

感染拡大防止策の強化

■ 下記対応を行うかどうかを都道府県において判断するよう、農林水産省から照会

① 食事券・ポイントの利用は、原則として「4人（子どもを除く）以下の単位」での飲食とする。

実施する場合は、具体的な手法の導入についても検討。

大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

(R2. 11. 10新型コロナウイルス感染症対策分科会の緊急提言)

② ・ 食事券の発行・販売を一時停止するか否か
・ 既に発行・販売された食事券や付与されたポイントの利用を控える旨の呼び掛けるか否か

プレミアム付食事券の新規発行の一時停止及び既に発行された食事券やオンライン飲食予約サイトで付与されたポイントの利用を控える旨の利用者への呼びかけについて、都道府県知事に各地域の感染状況等を踏まえた検討を要請して頂きたい。

(R2. 11. 20新型コロナウイルス感染症対策分科会の提言)

高知県の対応

<高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安>

- ・ 「特別警戒（赤）」
- ・ 「会食」の対応方針：「小規模グループかつ短時間で」
→具体的な目安「4人以下、2時間以内で」

<Go To Eat事業に対する農林水産省への要請内容>

■ 高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安と同様の要請を行う

(内容)

○ 食事券・ポイント利用に人数制限を要請する

- ・ 県民への呼びかけと同じ4人以下 (単位) とする。

(単位：物理的に4人以下に分かれての会食は可)

- ・ 他県同様、子ども、介護者等を除く。

(10都道府県中9都府県が、子ども、介護者等を除く)

(北海道のみ、未就学児、介護者等を除く)

- ・ 同居家族のみの場合は人数制限の対象としない。

(10道府県中、5都道県が同居家族のみ、5府県が家族のみ)

- ・ 「会食は2時間以内で」の呼びかけ

<参考>

- ・ 食事券の発行・販売の一時停止については、今後の感染状況により、改めて判断